

# 幼稚園における花育活動の実践マニュアル

(品川区立御殿山幼稚園における年間行事に即した花育活動の実践事例より)

## 1 花育活動の実践マニュアルの基本方針

幼児と低学年の児童を対象とする花育については、花や緑のある生活空間とそれに触れることのできる場と機会を提供し、身近に花や緑のある快さを実感させるための支援を進めることを基本方針とする。

具体的には、幼稚園等の園庭に自然で季節感のある豊かな花や緑を準備し、先ずは戸外に連れ出すことから始める。日常的に花や緑のある空間や花や緑に触れることができる環境に馴染み、花や緑に囲まれる心地良さを諸感覚で感じられるようにする。また同時により生活に密着した花や緑を知る機会として花や緑と関わりの深い日本古来の祭りや母の日、クリスマス等日本でも多く家庭で親しまれている欧米由来の催事への参加を体験する。できる範囲で指導者、保護者、友達と協力して花準備の手伝いなどもしてみる。

## 2 花育活動の実践マニュアルの検討経過

花育活動の実践マニュアル作成グループは、まず、御殿山幼稚園の年間カリキュラム、園庭等の教育現場の状況、園児を取り巻く生活環境等を調査・把握するとともに、花育活動の基本的な取り組み方針、花育活動の実施上の問題点等について総合討議した。

### ア 花育活動の基本的な取り組み方針

a 都市市域にある御殿山幼稚園の場合、ほとんどの幼児が園芸作業やフラワーアレンジ等の体験がないことを踏まえ、まず、花と緑に楽しく接する機会を提供することを基本とした。

また、幼稚園の指導者の方々は、花と緑に関する専門知識や技能を有していないことが多いので、花き業界関係者がボランティアとして指導・助言することを前提とした。一方、花き業界関係者も、教育の専門知識や経験を有していないので、花育活動の実際の運営については、幼稚園の年間カリキュラムに基づく学習計画に即して、その学習計画をサポートするように花育活動を実施することとした。

b 種子や球根の植え込み等により、植物を育てその一生を観察することを体験させることとした。このことは、生命力、命の営みに感動してそれを守ることの大切さを実感させることに効果的であり、花育にとって最も基本的なことである。また、花の咲くまで、実のなるまで、種のできるまでの過程を観察し、花と葉の機能やその関係の基本を理解させることができる。

c 花を収穫(花摘み体験)して、飾る、押し花等にすることを体験させることとした。このことは、ふだん家庭や自分が切り花を使い慣れているとしても、土に生え

ている花を切る行為は、多くの子供にとっては新しい体験となる。また、花を飾る楽しみや人に花を贈る喜び等の新たな体験ができる。

## イ 年間カリキュラムと関連づけた花育活動

- a 年間カリキュラムをみると、入園式、母の日のプレゼント、七夕、お月見、いもほり、作品展、クリスマス、お正月遊び、節分、ひな祭り、修了式等の季節ごとに多様な行事が取り組まれており、これら行事と花育との可能性について検討した。



- b 季節ごとにフラワーアレンジメント楽しむ行事として、春 母の日 秋 お月見 冬 リース(クリスマス、お正月) 春 ひな祭りを設定するとともに、その花材については、購入したもののだけではなく、園内の花壇やコンテナ等で身近に採れる草を活用することとし、栽培計画に反映するとともに、10月に行ういもほりのつるを乾燥してクリスマスのリースの素材として活用することとした。

また、パンジー等季節ごとの花で花壇の植え替え時に処分しないといけなないものがあるが、それらの花を押し花として保存して、敬老の日のプレゼントの素材等として活用することとした。(資料1参照)

## ウ コンテナ及び花壇の年間栽培スケジュール

- a 御殿山幼稚園は、小学校の隣接した幼稚園であるが、園庭は約400㎡と狭く、花壇が十分に確保できていない上、周辺建物の日陰のなる部分、西日が強く当たる部分等環境条件が異なるので、それぞれの環境に適した植物を選定するとともに、その栽培管理に園児や父兄が参加できるように配慮した。(資料2、3参照)
- b 特に、都市地域の幼稚園では、花壇用地が確保できない場合もあるので、西側の通路部分には、大型コンテナ(L1200×W505×H515)を導入することし、季節の草花や野菜等を栽培して収穫するコンテナ花壇とした。
- c また、金網ヘンスやハンキングの活用等を行い、立地条件に生かした多様な栽培方法があることを示すこととした。

## 御殿山幼稚園における花育活動（フラワーデザイン編）

### 一年間の行事に即したフラワーデザインの基本的な考え方

- ・園児が花に触れ楽しむことで、自由な発想や感性を養う。
- ・行事と花の関わりや花の色、香り、季節感を感じてもらう。
- ・単体の花を組み合わせ、アレンジメントに仕上げる達成感を感じてもらう。

### 各フラワーデザイン設計及び花材・資材の選定の考え方

- ・ひな祭り
  - ・花育のスタートの課題であったため、ひな祭りのイメージを菱餅にし単純化した。アレンジ体験のない園児が、菱餅形の吸水性スポンジに自由に花を生けてもひとつの作品に仕上がるようにした。

時期 平成19年2月27日(火)  
 時間 10:00～12:00  
 参加人数 55名

花・資材	数量
チューリップ(メリーウイド)	2
スイートピー(初恋)	2
菜の花	2
spマム	2
カラー吸水性スポンジ(レインボ-フォーム)	1
ビニールシート(塩化ビニール製のラッピングペーパー)	1
紙皿	60
アレンジ袋(持ち帰り用)	60

白、ピンク、緑のレインボ-フォームを3段に重ねて菱餅の形にカットする。  
 紙皿は長時間の湿りには耐えられないので、ビニールシートを水受けとして敷いた。  
 ピンクや若草色のペーパーを使用してひな祭りのイメージを表した。



### ・母の日

- ・吸水性スポンジを使用しない方法でも花をアレンジできることを体験してもらった。
- ・カラフルな透明感のあるビニール製の器に投げ入れ風のアレンジしてもらった。
- ・母の日のプレゼントとしてカーネ-ションと春の草花の組み合わせをした。また、親子で花の会できるように考えた。

時期 平成19年4月27日(金)  
 時間 10:00～12:00  
 参加人数 55名

花・資材	数量
spカーネ(ｐﾃｯｼﾉ)	3
spバラ(ｻﾏｶﾚﾅ)	3
ﾊｰﾌﾞセラニウム	3
マトリカリア(ｼﾝｸﾞﾙﾊﾞﾙﾓ)	2
ニゲラ	2
千日紅(ｽﾄﾚﾌﾞﾘｰﾌｨｰﾙﾄﾞ)	3
ﾋﾞﾆｰﾙ製ｶﾗｰﾙｯｶｰｽｶｲﾊﾞｰｽ(透感のある) (赤、ｸﾞﾘｰﾝ、ﾌﾞﾙｰ、ｸﾘｱ、ｵﾚﾝｼﾞ)	1

花を支えるためアルミワイヤーをバネ状につくり、それを器の口ぎりぎりに横たえ、ワイヤ両先端を器の両端にそれぞれ引っ掛け取り付け。ワイヤーの隙間に花を生ける。幼稚園で育った花を加えた。



#### ・お月見

・花はお月見と秋の七草風の組み合わせに、花育として花壇に植えた野菜(ラディッシュ)を収アレンジに加えることにした。

時期 平成19年10月 5日(金)  
時間 10:00 ~ 11:30  
参加人数 55名

花・資材	数量
ｽｽｷ	2
ﾋﾝﾎﾝﾏﾓ(黄)	2
ﾘﾝﾄﾞｳ	2
ﾌﾞﾙｰｺｺ	1
ﾅﾃﾞｼｺ	3
ｽﾌﾟﾚｲﾏﾓ	2
栗	3
吸水性ｽﾎﾝｼﾞ	1
紙皿	1
塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製ﾗｯﾋﾞﾝｸﾞﾊﾞｰﾊﾞｰ(ﾊﾞｰｼﾞｭ)	1
ｶﾗｰ輪ｺﾞﾓ	3
持ち帰り用袋	1

月のイメージ

1/2個

ラディッシュが既に収穫されてしまい、使用できなかったため、代替として栗と幼稚園のブドウをアレンジに添えた。



・クリスマス

・幼稚園が毎年、親子でつくるリースづくりが行事としてあったため、それと連動したかたちで、今年では花育として行うことにした。リースの土台は収穫したさつまいもの皮を乾燥させたもの、幼稚園側でリースに仕立てたものを使用した。合わせるオーナメントは自然素材のみにし、親子の共同作業で仕上がるようにした。

平成19年12月18日(火)

10:00 ~ 11:30

62名

花・資材	数量
ヤシャブシ枝・実付	1 1/2本
サンキライ	1
松笠	4
ハッカク	5
ノーブルベルベトリボン	1m
ゴールドリボン エラスチックブレード(下げひも)	50cm
茶色地巻ワイヤー	適宜
持ち帰り用袋(紙)	1

素材をワイヤリングし、リースの土台にオーナメントを取り付けていく。  
最後に作例として、リボンを外し、松の枝、水引を取り付けければ、お正月リースにも使用できることを紹介した。



園児への実践・指導に当たって、注意、配慮したこと

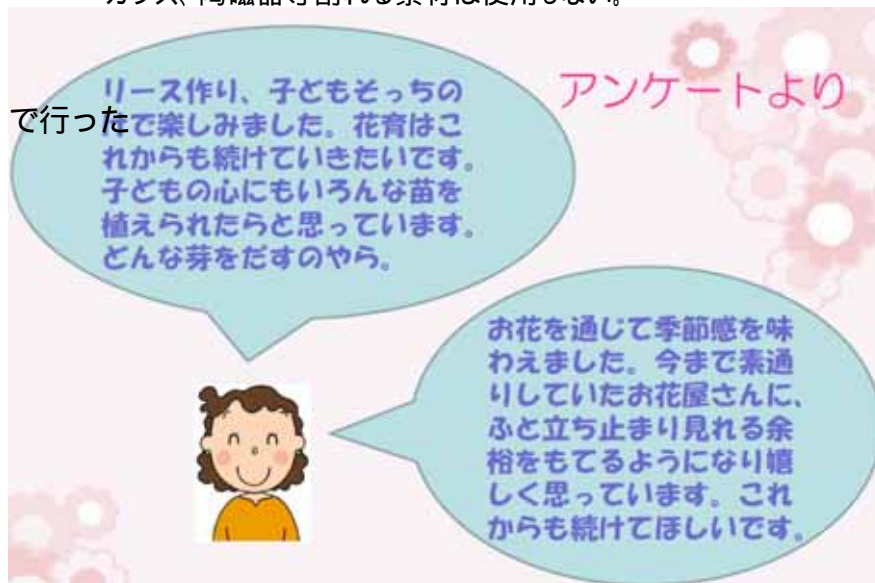
- ・花材選択は園児の体格にあわせて、花の大きさ、茎の太さ、硬さ等を考慮した。
- ・棘のある花材を避けた。
- ・器選択では、割れる、重い、硬すぎる等の素材は使用しないようにした。
- ・香りのある花材をできるだけ選択した。
- ・手に負えない部分は、こちらで制作し持参した。
- ・色彩面でも楽しむことができるよう配慮した。

その他創意工夫した事項

- ・ひな祭りでは、カラーの吸水性スポンジのピンク、白、若草色を菱餅形にカットして、それを土台とした。

幼稚園の外部から指導アドバイスする場合の注意事項、問題点

- ・指導には、説明役と複数の指導者が各園児を見て怪我など起きぬよう注意する。
- ・鉢は幼児用の先端が丸みのあるものを使用すること。(幼稚園に備品としてあるものでよい)
- ・指導する時間は30分程度。それ以上は耐えられない。
- ・説明する時は、全員が前を見てからにする。途中の説明も必ずそのようにする。
- ・ガラス、陶磁器等割れる素材は使用しない。



P T A 活動と  
の共催で親子で  
おこなったクリ  
スマスリース作  
りのアンケート  
より。

毎月の誕生会では、  
年長の子どもたちが  
フラワーアレンジを  
行い、友達にプレゼン  
ト。また、子どもから  
はお母さんへ。

ペットボトルにオ  
アシスを入れて、庭に  
咲いている花を生け  
たもの。



## 御殿山幼稚園における花育活動(ガーデニング編)

### 御殿山幼稚園における花壇設計の基本的な考え方

園庭、通路ともにすっきりと整理して四季折々の花がどこかで咲くように、宿根草、一年草合わせて植栽計画をたてる。

子供の感性を育てる意味で、種をまき芽が出て、花が咲き、実がなる、そして喜び感謝して食す。

### 各花壇の立地条件の対応した植物選定の考え方

校庭花壇は一方は建物一方は崖と日当たりが悪くフェンスの面のみ日当たりや、風通し共に良く野菜や日当たりを好む植物に適している。

その場その場の育成に適した植物を宿根草と一年草の混合植えとする。

自分たちで育てた植物を、年間行事などの飾り付けに使用できるように選択する。

### 植物ごとの栽培ポイント

#### 日当たりの良いフェンス

**もっこうバラ** 花が終わったら肥料(骨粉、油粕)を8月下旬までに月2.3回与える。  
花後すぐ剪定する(花が咲いた枝を半分ぐらい切り落とす)  
前年に伸びた枝に8,9月に花芽形成します。12~1月に古枝などを切り落とします。斜め上に誘引すると花つきが良くなります。

**風船かずら** 種がハートの形をしているので子供が見て楽しい。  
よくつるが伸びて紙風船形の実がたのしい。  
一年草なので種を取っておくとよい。

## モッコウバラの植え付け



大型プランター  
なす  
キュウリ  
ミニトマト  
こだまスイカ

野菜を植えるため深さのあるコンテナを用意しました。



## コンテナでできたスイカ





## 花壇

アガパンサス 花が終わったら花茎の付け根から切り落とす。  
生育が旺盛なので春と秋に油かすや化成肥料を与える。  
3～5年に株分けを行います。

ヤブラン  
萩

## 日陰の花壇

斑入りギボウシ シェードガーデンに適しています。  
11月～3月まで休眠します。

クリスマスローズ

ユキヤナギ 枝の伸びの勢いが強い植物です。  
枝が密になると風通しが悪く蒸れるので、間引いて風通しをよくする。  
9月～10月に花芽形成します。

斑入りやつで

## 一年草

マリーゴールド  
ダリア  
ニチニチソウ  
インパチェンス  
ひまわり  
おしろいばな

## 花壇の様子



## 資料1

### 品川区立御殿山幼稚園をモデル地区とした 花育活動の実践マニュアルの基本的な考え方

#### 1 種から育てる体験を取り入れる。

##### (1) 理由

- ・ 植物は、人間と同じように生きているということを感じられるようにするため
- ・ 植物は、種から育っているということ、発芽・鉢上げ・定植という一連の過程があることなどを知ってもらうため

##### (2) 方法

トレーに蒔く⇒ 鉢上げをする(ヤドカリのように体の大きさに合わせてお家を換えてあげる)⇒ プランターや花壇に植え付ける(そうっとそうっと植える)

##### <配慮すること>

- 児童が何の花を育てているかが分かるように、育てている花には、必ず名札を立てておく。
- 育てる花は、丈夫であり手間がかからないような物にする。(ヒマワリ、センニチコウなど)

#### 2 フラワーアレンジメントを行事にあわせて行う。

##### (1) 理由

花を飾ったり活用したりして季節を感じ、生活を豊かにできるようにするため

##### (2) 方法

自分が育てた花を摘む⇒ 購入切り花と自分が摘んだ花の両方を使って保護者と共にアレンジメントする⇒ 教室や家に飾って楽しむ又はプレゼントする

##### <配慮すること>

- はさみの使い方を事前に指導し、怪我のないようにする。

##### (3) アレンジメント楽しむ行事

春—母の日 秋—お月見 冬—リース(クリスマス、お正月) 春—ひな祭り

※ 花壇やコンテナ等で身近に採れる草を活用する。

※ リースは、育てたサツマイモのつるを使う。

※ お正月用のリースは、幼稚園で飾りを付け変えたものを見せるのみとする。

#### 3 自分が育てた花をきれいなまま残す。

##### (1) 理由

- ・ 自分が育てた花を大事に思う気持ちを尊重するため
- ・ 花を残す方法を知ってもらうため

(2) 方法

パンジーが終わりの頃、押し花にする ⇒ パウチする ⇒ 敬老参観でコースターとして使う



センニチコウをドライフラワーにする ⇒ いもつるをリースの飾りに使う



4 環境に合わせた栽培活動をする。

(1) 理由

植物はいろいろな育て方があることや環境に合ったものがあることを知ってもらうため

(2) 場所と方法

○フェンス……フウセンカズラやモッコウバラなどつる性のもの

○日 陰………クリスマスローズなど日陰でも咲くものやヤブラン、ギボウシなど葉を楽しめるもの

○コンテナ……一年草の季節の花

※ 花壇の代わりになる位の大きさ、深さは50センチ以上（大型コンテナ）

（安定感がある、管理が楽、作業がしやすい、景色が作れる、向かい合って仕事ができるなど）

○ハンギング……ポットフラワーとグリーン

○花 壇………多年草や球根、季節の花

※ 児童が世話をしやすいように、地面との段差を低くする。

品川区立御殿山幼稚園の花壇とコンテナの配置計画図

(南側は建物があり、日当たり不良)

南 北

D

菊がある

C

ひわ

ブドウ

都忘れがある

B

花壇を作りたい

A

水道

E

F

(東側は崖で、自然植生有り)

幼稚園の運動場 (418㎡)

大型コンテナ 7基  
(L1200 x W505 x H515mm)

幼稚園の園舎 (2階建 延べ420㎡)

幼稚園の学級編成 年少組 30名 年長組32名

(北側は御殿山小学校の校庭、金網フェンスで仕切り)

資料 3

品川区立御殿山幼稚園のコンテナ及び花壇の年間栽培スケジュール

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	
季節毎の園の行事	入園式	母の日のプレゼント こどもの日		七夕								お月見	いもほり				作品展 クリスマス			お正月遊び		節分		ひな祭り	修了式
コンテナ1			もっこうパウ挿え付け(4ポット)																						
コンテナ2		※1 種まき	風船かすら 事前に季節の草花※2									野菜挿え(小松菜)					チューリップ ムスカリ								
コンテナ3			風船かすら 事前に季節の草花※2									野菜挿え(小松菜)													
コンテナ4			ナス(3)									大根													
コンテナ5			キュウリ(3)									大根													
コンテナ6			ピーマン(3)									大根													
コンテナ7			スイカ(3)									大根													
花壇A			花壇整備 アザレア事前に移植 季節の草花挿え付け※2																						
花壇B			花壇作り(レンガ、石)																						
花壇C			ミントの整理 花壇整備 アガパンサス挿え付け ヤブラン挿え付け																						
花壇D			クリスマスローズ挿え付け 花壇整備																						
花壇E																									
花壇F																									



アガサンバン



クリスマスローズ



もっこらばら



ひまわり



風船かすら



千日紅

※1 種まき  
風船かすら  
ひまわり  
オンロイバナ

※2 季節の草花挿え付け  
マリーゴールド  
トシニア  
ダイア